

# 第2次出雲市地球温暖化対策実行計画

## 【区域施策編】

概要版



### 1. 計画の改定にあたって

本市では、平成20年(2008)2月に、市の地球温暖化対策として「出雲市地域省エネルギービジョン」を策定し、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を平成28年度(2016)には、平成18年度(2006)のCO<sub>2</sub>排出量1,665千t-CO<sub>2</sub>比約20%削減する目標を定め、市民、事業者及び市が協働し、地球温暖化防止の取組の普及啓発等に努めるとともに、再生可能エネルギーの導入支援を進めてきました。

しかし、平成26年度(2014)(直近の国公表値)における市内のCO<sub>2</sub>排出量は、人口や世帯数の増や製造業が好調だったとの理由から、約9.6%増加しました。

こうした状況をふまえ、今後さらに、市民、事業者のニーズに沿った地球温暖化対策の情報提供や支援を実施していく必要があることから、「第2次出雲市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に改定するものです。

### 2. 計画の期間と削減目標

#### (1) 計画期間

本計画の期間は平成30年度(2018)から2022年度までの5年間とし、その後は2023年度に改定する第3次出雲市環境基本計画に統合します。

#### (2) 対象とする温室効果ガス

本計画では、本市から排出される温室効果ガスの大半を占めるCO<sub>2</sub>を削減の対象とします。

#### (3) 削減目標

##### ① 基準年度及び目標年度

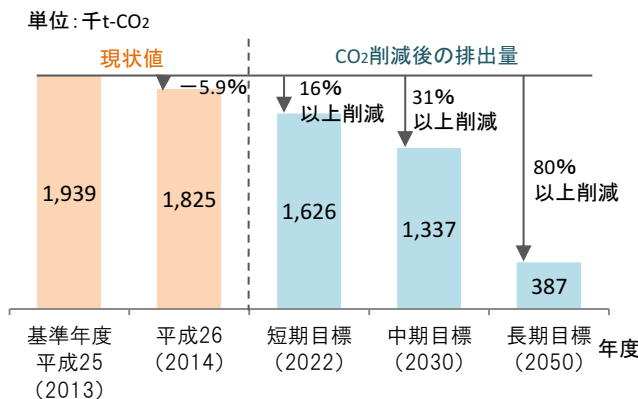
基準年度、中期目標年度及び長期目標年度は、国に準じました。短期目標年度は、本計画の計画期間満了年度である2022年度とします。

##### ② 削減目標

短期及び中期目標は、CO<sub>2</sub>排出量の将来推計をふまえ設定しました。長期目標は国に準じ、基準年度比80%以上の削減を目指します。

#### ■ CO<sub>2</sub>排出量削減の目標

目標	年度	削減目標	
		出雲市	国
基準年度	平成25年度(2013)	—	—
短期	2022年度(計画期間満了年度)	16%以上	—
中期	2030年度	31%以上	26%以上
長期	2050年度	80%以上	80%以上

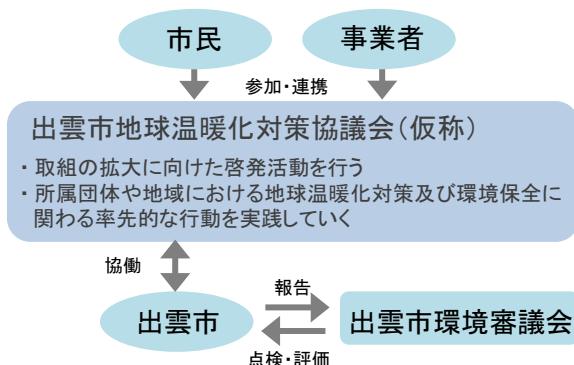


### 3. 推進体制と評価

本計画は、市民、事業者及び市の3つを主体とし、それぞれが連携・協働して推進します。

その活動の中心として、「出雲市地球温暖化対策協議会(仮称)」を設置し、地球温暖化対策に向けた行動や普及啓発活動を実践します。

その取組は、市が作成する環境に関する報告書(環境レポート)で出雲市環境審議会に報告し、取組の点検・評価を行います。



## 4. 取組の全体像

目指す  
環境像

# 一人ひとりが地球の未来を考え 地域から実践するまち

### 基本方針1 重点 情報提供・環境教育の推進

市民・事業者への意識調査の結果から、「省エネルギーを実行したいが、方法がよくわからない」といった回答の割合が増えています。重点的な取組として市民・事業者の皆さんに対し、より具体的な取組の情報発信につとめるとともに、将来をになう子どもたちに環境教育を通じ、地球温暖化対策の大切さを伝えていきます。

#### (1) 情報提供の推進

省エネルギーなどに関するセミナー、イベントを開催します。また、「広報いずも」や市ホームページを活用して、省エネルギーに効果的な取組の情報提供をします。

- ・ 市民・事業者に向けたセミナー、イベントの開催
- ・ 情報提供と取組効果の公表



イベントブース出展の様子

#### (2) 環境教育の推進

出雲科学館や風の子楽習館、斐川環境学習センターなどを活用して、環境教育を推進します。

- ・ 環境講座の開催と学校における環境教育の推進
- ・ 地域の活動拠点を活用した環境学習の実施
- ・ 「こどもエコクラブ」の活動推進



こどもエコクラブの活動の様子(緑のカーテン)

#### (3) 住民団体との連携・育成

出雲市環境保全連合会各支部の活動を支援・広報します。また、住民団体、島根県地球温暖化防止活動推進員及び環境NPOと協働し活動の輪を広げます。

- ・ 市、事業者及び環境NPOとの協働



省エネに関する講演会の様子

### 基本方針2 CO<sub>2</sub>排出量を減らすため、省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの導入を推進します。また、CO<sub>2</sub>を吸収する森林の保全とその活用を推進します。

#### 低炭素社会の推進

#### (1) 省エネルギーの取組の推進

クールビズ、ウォームビズやエコドライブの実践、公共交通機関の利用や徒歩、自転車を利用するなど省エネルギーの取組を推進します。

- ・ 市民運動の推進
- ・ CO<sub>2</sub>排出量の少ない交通移動手段の利用促進



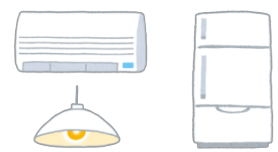
省エネ

CO<sub>2</sub>排出量の少ない移動手段

#### (2) 省エネルギー機器等の導入

最新の家電など省エネルギー機器等の導入のための情報提供や、家庭や事業所への無料省エネルギー診断の情報提供をします。

- ・ 省エネルギー機器等の導入促進
- ・ 家庭、事業所における省エネルギー診断の推進 など



省エネルギー機器

#### (3) 再生可能エネルギーの導入

民間事業者へのメガソーラーや風力発電所の導入支援や、公共施設への導入を推進します。また、森林資源を活用するため、木質バイオマス利用の促進やJ-クレジット制度を活用します。可燃ごみ処理施設の発電事業については、次期可燃ごみ処理施設の整備により、より一層の高効率化を目指します。

- ・ 再生可能エネルギーの導入支援
- ・ 木質バイオマス利用の促進
- ・ 次期可燃ごみ処理施設での高効率発電
- ・ J-クレジット制度の活用

#### (4) 森林保全と活用

森林整備や環境保全型農業、緑地保全を推進することで、CO<sub>2</sub>削減に貢献します。

- ・ 植樹事業の推進 ・ (仮称)森林環境譲与税の活用
- ・ 環境保全型農業への支援
- ・ 緑地の保全への支援



植樹の様子

#### (5) 環境マネジメントシステムの普及促進

省エネルギーの取組を見える化し、計画的に取り組むことができるよう「環境マネジメントシステム」や環境家計簿「エコライフチャレンジしまね」などを推進します。

- ・ 事業所における「エコアクション21」等の普及
- ・ 「エコライフチャレンジしまね」の普及
- ・ 「いずもエコオフィス・アクションプログラム」の運用



「しまねエコライフサポートセンター エコサポしまね」  
ウェブサイト トップページ

家庭のエネルギー使用量や金額を見える化できます。

### 基本方針3

#### 循環型社会の推進

日常生活や経済活動から発生するごみを減らすことで、CO<sub>2</sub>排出量を減らすことができます。3Rに取り組み、循環型社会を推進します。

#### (1) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組の推進

リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再利用)の優先順位を意識した取組を推進します。

- ・ ごみ減量化の推進 ・ ごみ再資源化の推進
- ・ 「しまねエコショップ」「しまねグリーン製品」の利用促進 など



古着市の様子

### 地球温暖化への適応策

現在でも、地球温暖化により、ゲリラ豪雨や台風の強大化等による災害リスクの上昇や、生物の生息域の変化、農作物の産地の変化等、様々な影響が生じてきています。地球温暖化により現れている影響を把握し、今後予想される影響を想定の上、その対策を講じていきます。

#### (1) 健康分野の対策

気温上昇により、熱中症患者の増加や感染症の発生が懸念されます。講習会、「広報いずも」及び市ホームページ等を通じ、注意喚起、対処法、予防対策の情報提供を行います。



熱中症や感染症の増加

#### (2) 防災分野の対策

地球温暖化の影響で、集中豪雨の発生など甚大な豪雨・洪水の被害や土砂災害が頻発しており、今後、その頻度が増すことが懸念されます。

ハザードマップを作成・配布し、大雨、土砂災害への備えを呼びかけ、災害発生時には「出雲市防災計画」、「出雲市水防計画」等に基づき速やかに対応します。また、山地災害対策として森林整備を図ります。



洪水被害の増加

#### (3) 自然生態系分野の対策

地球温暖化は、河川や湖沼の水温や水質の変化、生物の生息環境の変化など、私たちの身近な環境にも影響が現れつつあります。

島根県など関係機関と協力し、水環境への影響や外来生物の生息域の拡大防止に努めます。また、野生鳥獣の生息域の拡大を防ぐため、捕獲体制を強化します。



生息環境の変化






## 5. 節約しながら取り組める温暖化対策

市内から排出されるCO<sub>2</sub>を削減するには、市民の皆さん、一人ひとりの小さな取組の積み重ねが大切になります。そこで、光熱費を節約しながら、ご家庭で取り組める地球温暖化対策を紹介します。

取り組んで節約(省エネ)！

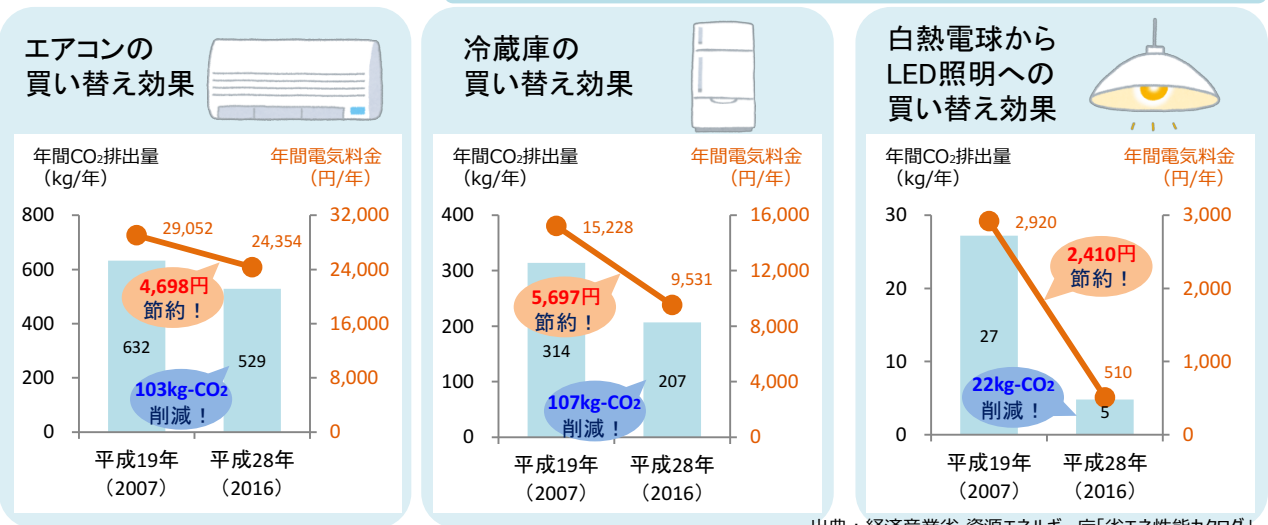
少し意識を変えるだけでこんなにオトク

エアコンで節約！	合計節約額・CO <sub>2</sub> 削減量	項目	節約額	CO <sub>2</sub> 削減量
	節約額 : 3,860円/年 CO <sub>2</sub> 削減量 : 83.9kg-CO <sub>2</sub> /年	夏の冷房時の室温は28℃を目安に	820円/年	17.8kg-CO <sub>2</sub>
		冷房は必要な時だけつける	510円/年	11.0kg-CO <sub>2</sub>
		冬の暖房時の室温は20℃を目安に	1,430円/年	31.2kg-CO <sub>2</sub>
		暖房は必要な時だけつける	1,100円/年	23.9kg-CO <sub>2</sub>
エコドライブで節約！	合計節約額・CO <sub>2</sub> 削減量	項目	節約額	CO <sub>2</sub> 削減量
	節約額 : 17,790円/年 CO <sub>2</sub> 削減量 : 344.2kg-CO <sub>2</sub> /年	ふんわりアクセル「eスタート」	10,030円/年	194.0kg-CO <sub>2</sub>
		加減速の少ない運転	3,510円/年	68.0kg-CO <sub>2</sub>
		早めのアクセルオフ	2,170円/年	42.0kg-CO <sub>2</sub>
		アイドリングストップ	2,080円/年	40.2kg-CO <sub>2</sub>
冷蔵庫で節約！	合計節約額・CO <sub>2</sub> 削減量	項目	節約額	CO <sub>2</sub> 削減量
	節約額 : 4,070円/年 CO <sub>2</sub> 削減量 : 88.4kg-CO <sub>2</sub> /年	ものを詰め込みすぎない	1,180円/年	25.7kg-CO <sub>2</sub>
		設定温度は適切に	1,670円/年	36.2kg-CO <sub>2</sub>
		壁から適切な間隔で設置	1,220円/年	26.5kg-CO <sub>2</sub>

出典：経済産業省 資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」

買い替えて節約(省エネ)！


約10年前と今の機種では、買い替えるだけでこんなに違います



出典：経済産業省 資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」

仮に、上記の取組と買い替えを全て行えば、年間約**38,525円**の節約となり、CO<sub>2</sub>削減量は約**749kg-CO<sub>2</sub>**となります。1世帯あたりのCO<sub>2</sub>排出量が年間約4,940kg-CO<sub>2</sub>(※)だとすると、約**15.2%**の削減量に相当します。

※ 出典：温室効果ガスインベントリオフィス(家庭からのCO<sub>2</sub>排出量(2015年度))



知っていますか？

環境省では、省エネ・低炭素型の製品への買い替え、サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の取組を進めています。

また、専用アプリをダウンロードすると、現在使用している製品と最新の製品との比較ができるなど、オトクな情報が盛りだくさんです。

出雲市も賛同しています！

アプリ「COOL CHOICE」のダウンロードはこちらから！

